

# みんなで作って食べよう！ 「寿こども料理食堂」

公益財団法人住吉隣保事業推進協会

藤本 真帆

## 寿こども料理食堂とは・・・

- ・こども達の食に対する興味をつける
- ・家に一人でいても自分でなにか調理し、食べるための知識をつける
- ・こども達、地域住民の孤食をすこしでも防ぐ
- ・こども達、地域住民が安心して来られる場所を作る。

毎月第2・4火曜日夕方4時～7時30分  
中学生以下無料・高校生以上300円

その他：総合相談・個別支援・  
ボランティア研修・イベントなども



# 「寿こども料理食堂」の様子



## ～ルール～

- ①挨拶をすること
- ②手を洗うこと
- ③必ずなにかは手伝うこと  
(調理・配膳・片付け)
- ④みんなで「いただきます。」
- ⑤自分の使った食器は  
自分で洗うこと
- ⑥保護者の人に言うてくること



参加人数計:こども約41人 おとな22人(1回平均:こども20人・おとな12人)

居場所利用者数:平均1日20人

個別支援:3世帯(アルファ米の提供)

# 「寿こども料理食堂」の様子～開始から後片付けまで



# ボランティア育成や他団体との協力・寄付

## ボランティア研修



## 住吉区地域・こども食堂連絡会



## 寄付



## 干し柿づくり

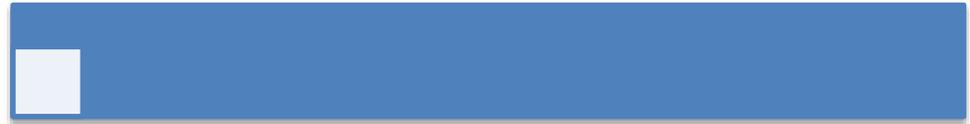


## こども達



- 居場所機能(料理以外にも、宿題・音読など)
- 調理が上手になり、時間が短縮
- 自発的な行動  
(褒められる→自己肯定感アップに)
- 「なんか味違う・・・」発言(食育の成果?)
- 食べ物の幅の変化  
(好き嫌い・コンビニ弁当から家庭料理へ)

## 運営側



- 地域コミュニティの場
- 支援が必要なこどもの発掘
- 学校・ソーシャルワーカー・他団体との協力体制
- 個人・企業の寄付(物品・資金)
- 教職員や他団体の視察

## こども達



支援が必要なこどもの定期的な参加

保護者との関わり

場所の確保

## 運営側



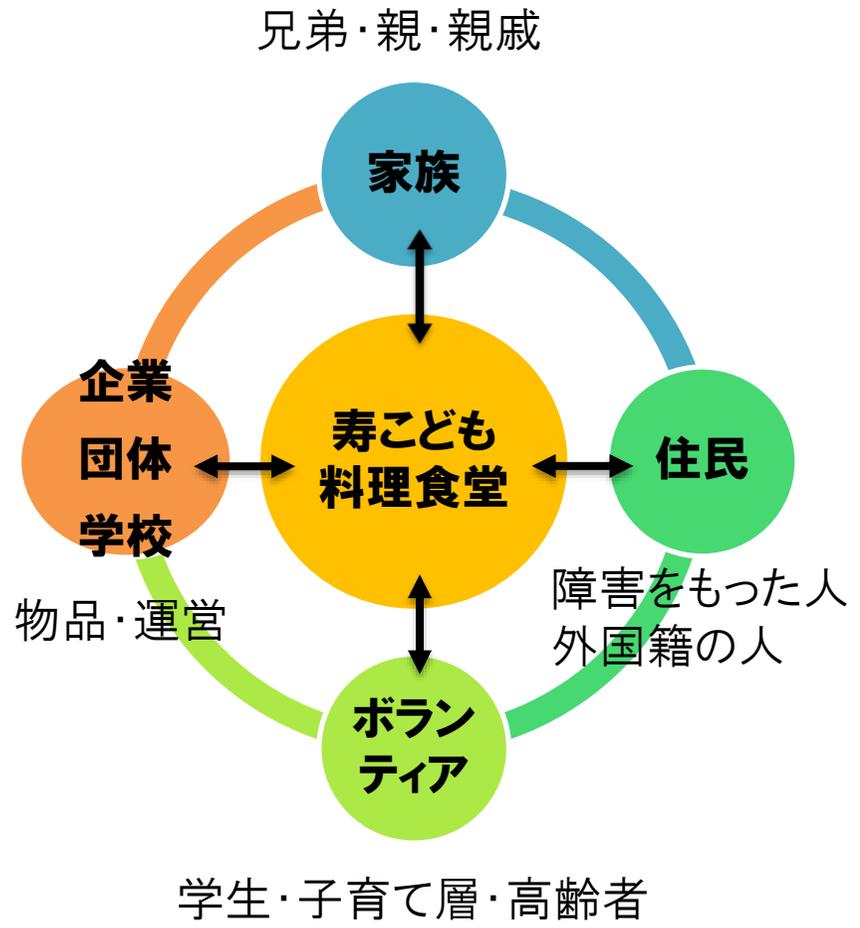
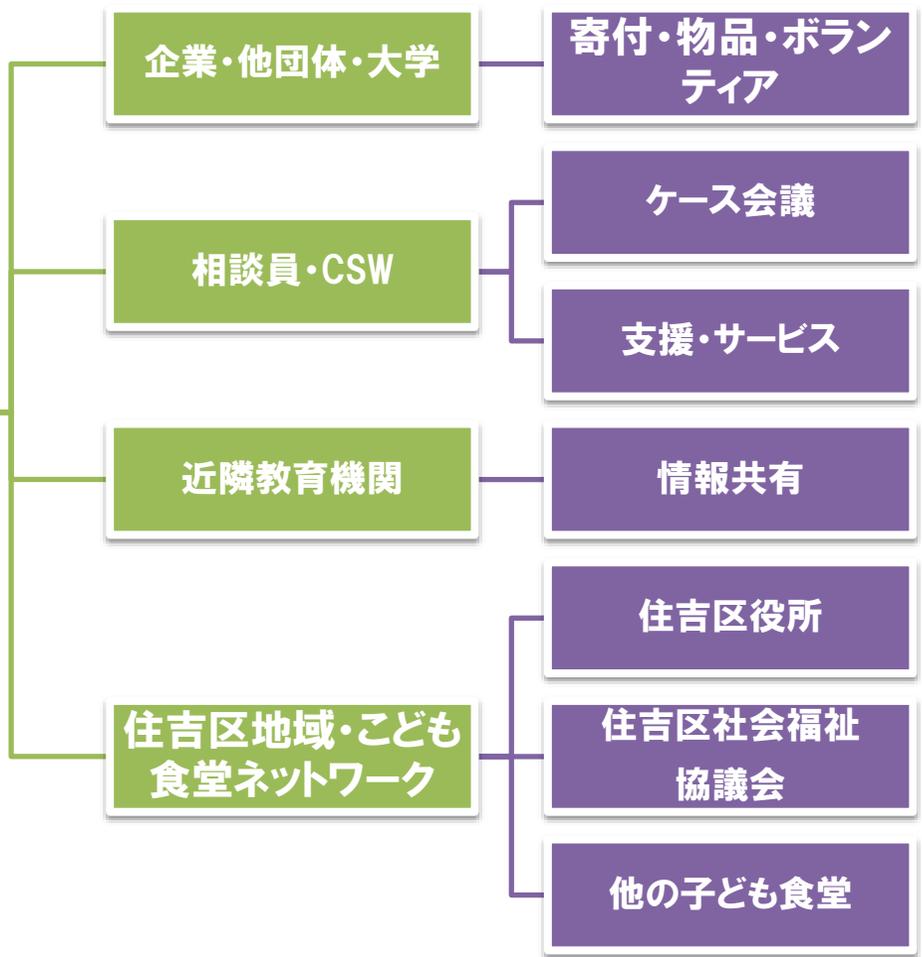
継続のための資金確保

ボランティアスタッフ育成

ニーズ・課題発掘から具体的な支援へ

# 寿こども料理食堂の体制と目指すもの

## 寿こども料理食堂



- ・こどもが元気＝大人が元気＝地域が元気
- ・こども支援は地域支援